

第 31 回（通算 149 回）全経簿記検定試験 上級出題予想

商業簿記・会計学

科 目		第 1 予 想	第 2 予 想	第 3 予 想
商業簿記		決算三勘定	連結会計	本支店会計 (在外支店を含む)
会 計 学	第 1 問	正誤問題	正誤問題	正誤問題
	第 2 問	税効果会計	ソフトウェア	自己株式及び法定準備金の取崩
	第 3 問	キャッシュ・フロー 計算書	退職給付会計	債権の分類と貸倒見積高の算定

なぜこう予想したのか

〔商業簿記〕

第 1 予想は決算三勘定をあげました。ほぼ例年決算三勘定の出題実績があること、そして前回未出題であることを踏まえると、十分な対策をしておくことが必要です。頻出論点である現金預金、商品の評価、有価証券、固定資産、リース、外貨、税効果は確実に押さえておきたいところです。また、新株予約権付社債や減損についても確認しておきましょう。

第 2 予想には連結会計をあげました。決算三勘定と同様に高い出題実績があります。連結会計の場合には、精算表の作成問題が考えられます。連結会計での税効果の処理を確認しておきましょう。

第 3 予想には本支店会計をあげました。本支店会計としては近年出題がありませんが、在外支店の換算を含む本支店合併財務諸表の作成が問われる可能性を念頭においておきましょう。

〔会計学〕

会計学の第 1 問は例年どおり正誤問題としました。

第 2 問は理論問題での出題と想定して、第 1 予想に税効果会計をあげました。税効果会計は定期的に出題されている論点です。第 2 予想のソフトウェアは新基準の中で未だ出題されていない論点であり、注意が必要です。特に市場販売目的のソフトウェアについては計算問題としても出題が考えられます。第 3 予想の自己株式等は資本の分類とあわせて確認しておきましょう。一株当たり当期純利益の計算も同時に問いやすいと考えられます。

第 3 問は計算問題での出題と想定し、第 1 予想にキャッシュ・フロー計算書をあげました。出題実績の高い論点であるにも拘わらず、前回前々回と未出題となっています。第 2 予想は、第 25 回で理論問題として問われて以来の退職給付会計をあげました。差異の処理を含め確認しておきましょう。そして第 3 予想は債権の分類と貸倒見積高の算定をあげました。キャッシュ・フロー見積法は注意が必要です。

第 31 回（第 149 回）全経簿記検定試験 上級出題予想

工業簿記・原価計算

科 目	第 1 予 想	第 2 予 想	第 3 予 想
工業簿記	工程別総合原価計算	直接原価計算	部門別個別原価計算 + 本社工場会計
原価計算	設備投資意思決定	戦略的原価計算 + C V P 分析	業務執行意思決定 + 事業部制

なぜこう予想したのか

〔第 1 予想〕

工業簿記は工程別総合原価計算、原価計算は設備投資意思決定としました。

工程別総合原価計算は、部門別個別原価計算とほぼ同じ頻度で出題されていること、論点的には出題の余地は十分考えられることから第 1 予想としました。なお、連産品、副産物については注意が必要でしょう。設備投資意思決定は、近年の出題傾向としてキャッシュ・フロー概念や資本コストの重要性を意識した出題が多いこと、ここ数回は大問としての出題がないことから第 1 予想としました。

〔第 2 予想〕

工業簿記は直接原価計算、原価計算は最新原価計算と C V P 分析としました。

直接原価計算は、近年固定費調整といった直接原価計算単独の出題がないことと、論点の重要性という点で第 2 予想としました。戦略的原価計算と C V P 分析は、活動基準原価計算、品質原価計算の出題可能性を考慮し、また C V P 分析は小問形式での出題がされやすいという点で第 2 予想としました。

〔第 3 予想〕

工業簿記は部門別個別原価計算と本社工場会計、原価計算は業務執行意思決定と事業部制としました。

部門別個別原価計算と本社工場会計は、部門別個別原価計算は頻出ですが本社工場会計の論点はここ数年出題はありませんので、突然出題されるリスクを考慮して第 3 予想としました。業務執行意思決定と事業部制の複合問題は、意思決定会計の重要性と最近の直接原価計算の基本的思考を発展させた出題がされていることから第 3 予想としました。

出題予想に関連する過去の本試験問題

科 目		第 1 予 想	第 2 予 想	第 3 予 想
商業簿記		決算三勘定 143 回、141 回	連結会計 146 回、140 回	本支店会計 (在外支店を含む) 144 回(在外支店)
会 計 学	第 1 問	正誤問題	正誤問題	正誤問題
	第 2 問	税効果会計 134 回	ソフトウェア 過去に出題なし	自己株式及び法定準備金 の取崩 140 回
	第 3 問	キャッシュ・フロー 計算書 144 回、141 回、 135 回	退職給付会計 143 回	債権の分類と貸倒見積高 の算定 日商 105 回会計学

科 目		第 1 予 想	第 2 予 想	第 3 予 想
工業簿記		工程別総合原価計算 143 回、138 回 135 回、134 回	直接原価計算 147 回(原価計算)	部門別個別原価計算 + 本社工場会計 146 回、141 回 137 回、131 回 129 回(本社工場会計)
原価計算		設備投資意思決定 141 回、140 回 132 回	戦略的原価計算 + C V P 分析 C V P 分析 146 回、144 回、135 回 131 回	業務執行意思決定 + 事業部制 134 回

本試験に出題される論点が内容・形式ともに過去の問題と一致するとは限りませんが、関連する問題を解くことにより、本試験で慌てることは少なくなると思います。

また、解く際には、より最近の問題から解くようにして出題傾向を把握するようにしてください。会計学の正誤問題は特に回数を指定していませんが、過去の問題を見ておきましょう。

過去に未出題のものについては、日商簿記用のテキストや過去問題等を参考にしてください。

全経上級過去問題集はネットスクール WEB SHOP にて販売しております。

詳しくは <http://www.net-school.co.jp/shop/ze/index.html> をご覧ください。